



# 有年の空

【校訓】

「はつらつ・ほがらか・すこやか」

赤穂市立有年小学校 学校便り

平成27年1月20日 文責 谷本まゆ美

## 「有年物語」第10回記念公演に向けて

「有年物語」第10回記念公演まで、10日となりました。全校児童が、それぞれの学年に応じて、「心一つに」練習に励んでいます。一人一人が自分の役割を果たすとともに、友達のところも覚えてふるさと有年の素晴らしさを伝えようとしています。

舞台における表現方法は、見る人の立場で考えないと不十分です。「どのようにすれば、伝えたいことを観客の皆様に分かっていただけるのか」を、友達や先生と考え合って、練習に生かしています。この積み重ねのなかで、堂々と自分の意見を述べる力を伸ばしていきたいと思っています。



### 健康管理のお願い

### 全員で「有年物語」を成功させよう

「ハーモニーホールの舞台に、全員を立たせたい。」

これが今の私達の最大の願いです。

しかし、市内でもインフルエンザや流行性耳下腺炎（おたふく風邪）が、流行しています。学級閉鎖が行われる学校も出てきました。

本校では、3学期が始まってから、インフルエンザの流行を防ぐいろいろな手立てをとってきました。

（子どもたちが気をつけること）

- ・免疫力の高い体を作るために、早寝早起き朝ごはんを規則正しい生活を送ること
- ・うがい・手洗いを励行してウィルスを体に入れないように気をつけること
- ・マスクを着用して、罹患を防ぐ

（教師が気をつけること）

- ・インフルエンザが流行しにくいように、教室の換気や加湿を適切に行うこと

保健だよりでもお知らせしましたように、各ご家庭でも、全員が元気で過ごせるように健康管理をよろしくお願いします。



バスは、まだ座席に余裕があります。お誘い合わせて、是非ご来場ください。

## 学校の教育活動の様子

1月14日に、防災について多くのことを学びました。

### 避難訓練

避難訓練を実施しました。

本年度3回目の今回は、大地震発生の後、火災が起こったという想定の下、どうすれば一番安全なのかを考えて、避難する訓練でした。避難経路に「電灯が落ちている」「ガラスが割れている」等の表示をしたり、けがをした児童を救助したりという想定で臨機応変に動くことをめあてにしました。

阪神淡路大震災から20年。

東海・東南海・南海トラフ連動の大地震の発生の確率が高くなっているという情報が出されたり、赤穂市のハザードマップが配布されたりしています。

各ご家庭でも、防災の授業の内容や避難の仕方等、具体的に話し合いをして、被害を最小限に抑えられるようにしてください。



### 防災参観日

各教室で、防災について考える授業をしました。

学年に応じて、資料を使って「地震が起きたときに大切なことは何か」「どうすれば被害を減らすことができるか」「助け合うことの大切さ」などについて学びました。

9月に防災のお話をしていただいた連合自治会長様にも授業をご覧いただき、講評をしていただきました。



### 引き渡し訓練

防災の授業参観の後、引き渡し訓練をしました。

事前にメールで引き渡し訓練の案内を知らせたり、地区ごとの電話連絡網による連絡訓練をしたりしました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

実際に地震が起こった時にも、命を守ることを最優先にして、あわてずに適切な行動ができるように、訓練を生かしていただきたいと思います。



新メールシステムは、全員の方が登録されてから運用を開始します。

まだ登録されていない方は、早めに登録してください。

お問い合わせは、学校までお願いします。

